

令和8年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 115

千葉県立君津青葉高等学校 全日制の課程 総合学科

1 期待する生徒像

基本的な生活習慣が確立しており、総合学科の学習をとおして、将来の進路を主体的に考えようとしている以下のいずれかに該当する者。

ア 本校の学習に興味・関心があり、授業に意欲的に取り組む生徒。

イ 特別活動・部活動等に一生懸命に取り組み、入学後も継続的に活動できる生徒。

ウ 食品系列（食品製造）、農業系列（野菜・草花・果樹）、環境系列（森林・造園）、土木系列（測量・土木）、家庭・福祉系列（保育・食物・福祉）、普通系列（普通科目）などの学習に主体的に取り組む明確な意志がある生徒。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：1名8分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔165点満点〕

アの数値に、イについて加点（上限30点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、部活動及びその他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については30点を上限として加点する。

(3) 学校設定検査（面接）〔100点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 面接に臨む態度	面接に臨む態度が適切である。 基本的な面接作法が身に付いている。

4 選抜方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位を付け、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K＝1）	加点	面接	
500点	135点	30点	100点	765点

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途、個人面談を行う。